大正九年十二月十日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

見よこの惡虐非道を 山海關事件勃發の動機

武藤大將暗殺陰謀犯人が捕へられたるを奪還せんとした學良一派

（關東軍司令部發表）今次山海關事件の動機は武藤大將暗殺陰謀犯人を奪回せんとする張學良の不法行爲に端を發せるものと認めらる、其情況左の如し

武藤大將始め日滿要人暗殺のため昨年十月頃より十數組の暗殺團を滿洲各地に潜入せしめあるとの情報ありしが偶々去る十二月二十四日新京に潜伏中の朴敏元等を我憲兵の手により逮捕することを得、嚴重取調べの結果、陰謀策源地が北平方面にあること判明、新京憲兵隊より龜井少尉及び下士官一名を十二月二十六日天津及び北平方面に出張せしめ共犯孫基業を逮捕すると共に關係者を取調べたるに之等暗殺團は張學良の直接指揮を受くる抗日義勇軍に屬し且つ其費用は南洋華僑同盟より支那中央政府を經て送金せし廿萬元の內より支辨しゐること判明せり、本件は極めて事重大なるを以て孫基業と前記朴等を一纏とし調査のため新京に押送する必要を認め龜井少尉は一月一日天津發同日夕山海關着、同地に一泊翌日出發奉山線にて新京に向け歸任の豫定なりしが同日北支那駐屯軍司令部に於て『北寧線昌黎驛に於て日本憲兵二名を殺害し重要犯人孫基業を奪還の計畫あり』との情報を得たるを以て俄に豫定を變更せり、然るに同夜九時二十分山海關憲兵隊に爆彈を投じ且つ同地憲兵分遣所隊長官舍を射擊せし事件勃發し、之が今回の山海關事件の直接動因となりたるものなるが、これ張學良が孫基業を奪還し且つ我憲兵を殺害し證據湮滅を謀りたるものにして其第一手段として昌黎驛に於て我憲兵一行を殺害し犯人を奪還せんとしたるも目的を達せざりしため、第二の手段として犯人の留置せられあるべしと判斷せし山海關憲兵分遣隊を襲ひ、續いて我憲兵一行が宿泊しあるべしと思はるゝ同分遣隊長官舍を襲ひたるものと確認せらる

山海關事件の原因か斯くの如く張學良一派の不逞行爲により勃發せしものにして其方法手段をゑらばずして滿洲の治安を攪亂せんとする陰謀は眞に天人共にゆるすべからざるの行爲なり今次之等暗殺團一味の調査進捗に伴ひ張學良一派の惡辣非道と山海關事件との關係一層明白となるべく目下引續き之が實情調查中なり（號外再錄）

露支復交を契機に 滿洲の諸問題を

東洋に移讓せよとの空氣が漸次濃厚化す

聯盟萬能主義の支那がソ支國交復活を契機に次第に聯盟の動向より離脱しつつあるは最近に於ける注目すべき現象で右は「滿洲問題に關する限り東洋に於ける日支兩國は最後の結論を相互に歩み寄り求めねばならぬ」といふ深淵なる暗示を與ふるものと觀測され東洋に於ける政治情勢は來る聯盟總會を前に再び轉換をなさんとしてゐる、此の平和的雰圍氣の擡頭は左の理由に基くものと見られ滿洲國に希望を與へて居る

一、東洋の特殊性、複雜性に關しては西歐は其慣習の上に於ても又民族性の上よりも到底正確なる認識を下し得ざる事

一、聯盟が自らを知らずして問題に深入りすればする程東洋問題はそれに正比例して複雜且つ解決困難になる事が昨年以來の聯盟の處置取扱により一層明確にされて來た事

一、聯盟によつて當座の利益を獲得せんとした支那は最近に至り聯盟の無能を悟り更らに聯盟によつて期待を裏切られた世界は聯盟に對し「機を見て問題より手を引け」といふ實際的の進言をなす空氣が濃厚となりつつある事

等によるものであるが、支那が東洋に於ける地位を維持すべく聯盟を捨てソ國に乘變りたる事實は明かに滿洲國問題がジユネーヴより東洋に移動しつつある事を證明するもので、聯盟は此際此の好機會を逃さず、滿洲問題を東洋に移讓する方法を發見するのが賢明であると言はれて居る

阿片法大要

滿洲國政府に於ては昨年十一月三十日教令第一百十一號を以て阿片法を公布して以來之か施行期日に關しては深甚の考慮を拂ひ專ら法を知らすして法網にかかる者の有らん事を慮れて佈告傳單廣告其の他の方法を用ひ極力之か徹底周知に努力し又一面着々として阿片專賣の準備を進めていたか去る十二月三十一日を以て阿片卸賣人の指定出願者は全國計十人の指定に對し出願者實數約百人に達し其の希望區域によつて延人員を見積ると全國十區計百五十人に及んで居り之に對しては目下當局に於て嚴重且公平に詮衡中で有るので其の發表を見るに至るも遠くはあるまい

又阿片小賣人の願書受理は奉天、錦縣、遼陽、營口、開原、鐵嶺、安東、洮源、新京、吉林、哈爾濱及齊々哈爾の十二大市街地は阿片卸賣人と同じく十二月三十一日を以て既に締切られ其の他の地方に於ては一月三十一日迄て之又相當多數の指定希望者有る模樣を之に對しては目下各省公署及び首都警察廳並に興省特別區長官公署に於て夫々詮衡中てあるかくて阿片專賣の準備は全く成つたので愈々本月十一日を期し阿片法を施行せらるる事に決定し同時に其の附屬法規てある阿片法施行令阿片輯私法及ひ查獲私土獎勵規則も同日より適用される事となつた既に同法施行後は斷乎として其の違反者を取締る方針てあり從つて苟くも阿片の不正賣買又は不法吸食の如きは今後絶對に許容されない譯てある

一阿片法の內容に關しては既屢々報導した所てあるから茲に再述するの煩は避けるか阿片輯私法並に查獲私土獎勵規則の大要を摘錄して見ると左の通りにある

一、專賣官員は阿片法違反者と認めたる者若くは其の犯罪に係る阿片及其の吸食器具を發見したる時は之を逮捕又は押收する事を得

二、專賣官員は阿片法違反の嫌疑者ありと認むる場合は搜索を爲しある時は嫌疑者又は參考人を訊問することを得

三、鹽務官員稅務官員及び稅關官員其職務執行に當り阿片法違反者と認めたる者を發見したる時は專賣官員に準したる行動を採る事を得

四、凡ソ阿片法違反の阿片及所有者不明又は所有者所在不明阿片を私土と稱し私土を官に告けたる者及官員にして私土を查獲したる者に對しては政府は獎勵金を給與す

五、前項の獎勵金は其の查獲したる私土を專賣公署に於て換價し其の價格中より保管運搬其の他に要したる經費を控除したる殘額の十分の六を以て之に充つ

六、獎勵金の十分の七は之を官に告けたる者に與へ十分の三は查獲に從事したる官員に分配す

怪人凱歌

（映畫化・舞臺上演）須藤鐘一 作　瀧秋 畫

（百十）

髮の日（四）

「先生、今日は御氣分は如何でした？」

眞佐子は話頭をかへて尋ねた。

「あゝ、今日はね、大變よくてね御飯もよく頂けました」と笹川信子、その顏色も、成るほどよくなつた。

「それはよろしうございました」

「此の樣子では、もう二三日もしたら起きられるかも知れないよ。——院の方は、別に變りはないだらうね？」

「はい。ございません。——夕方山科子爵の奥樣がお見えになりましてね、何とか慈善會の舞踏會が今晩帝國ホテルにあつて、それに入らつしやるさうでございましたあの奥樣、ほんとにいつも御快活で居らつしやいますわね」

「さうね、あんなお仕合せな方も少いよ。——」

「先生が御綺麗だと申上げましたら、大層御心配なすつて、おや、明日にでもお島田に行かうと仰しやつてました」

「さう、お髮は何にお上げしたの？」

「丸髷か、束髮か、何方にしようとお迷ひの樣子でしたが、時間がありませんでしたので、オールバツクにお上げ申しました。奥樣のお髮のいゝこと、黑くて艷があつて、しなやかで長くて……ほんとに繪に見るやうでございますわね」

眞佐子が今更のやうに歎嘆する。

「あのお方と來ては、お髮ばかりでなく、お姿から御容色まで、すつかり揃つてゐらつしやるんだからね、上流社會でも、あんなにお立派な方は、ちよつと他に見當らないわね」

「さうでございます」

「然し、日本の婦人は、お髮はやはりカールしたり、斷つたりしないで、長くのばして在來の丸髷とか島田とか銀杏返しとか結綿とかに結つたのが、シツクリはまるやうね。近頃、わたしはだんだんさういふ氣がして來るの」

「さうでございませうか」

「長い間、內外の御婦人に接していろいろのお髮を扱つて見たし、つくづくさう思ふのよ。西洋の婦人には西洋流、日本の婦人には日本流が、どうしても一番よく似合ふのね。それはその筈よ、どちらも何世紀といふ長い間に進步し發達し、工夫され洗練された形なのだから、今俄に流行か何とか云つて、一時の思ひつきで勝手に拵へて見たつて、何處かに無理があつて、しつくりしないのはあたりまへさね。——」

信子は何と思つたか、珍らしく眞面目に論じ出した。

「それはさうですわね」

眞佐子は聊か面喰つた形で、師の話に受け流してゐる。

「……眞佐ちやんも、ほんとうにそんなにいゝお髮なんだから、斷髮なんかにしない方がいゝのよ。もうあの時から、大分時がたつから、今度は純日本風にして、島田にでも結つて見ませうよ」

「あら、わたし高島田なんか……」と眞佐子は答へず眼へ手をあてゝ顏を赧らめた。

「もう一年もたてば其の髮は日本髷が結へるやうになるから、それまで默つてゐて、急に上から下までスツカリ日本風に變へて、[illegible]さんを吃驚させてやりませうよ。世間が誰も彼れも西洋熱に浮されて、モダーンがつてゐる際だから、一つ國粹を發揮してアツと云はせてやらうぢやないこと？」

信子は、今眼前に見る洋裝斷髮のモダンガールの姿を、[illegible]るやうな文金高島田に友禪の[illegible]姿に一變させて見る事に異常の興味をそゝられてゐるやうだ。

夜も更けたので、眞佐子はやがて床に入つたが、又しても彼の斷髮した少年の事が眼に浮かんで長いこと寢つかれなかつた。

翌朝は、早目に家を出て先づ[illegible]田醫院を訪ねた。廊下で昨夜[illegible]だ看護婦に逢つたので、

「御容態はどうですかねえ」

「別にお變りはございませんが」

「あのちよつと！」と、看護婦が呼び止めたので、

「えゝ？」と、眞佐子は病室の[illegible]アにかけやうとした手を引いて、[illegible]りかへつた。

婦人講座

これから多い 婦人の冷え性

婦人は十人が九人まで冷えから起る病氣のいろいろ——因は？、その手當は？

醫學博士 都築

……から春の花、夏の夕涼み、秋の紅葉、冬の炬燵——と言つて四季をりをりに異つた興趣がありますが、その反面には、春の斗時は病菌が繁殖し易く、夏もが暑熱や汗に苦しむといつた合に、それぞれ不衞生な現象が伴つて居ります。

——わけても冬の冷え込みは、……の大敵といはれて、之から嚴冬に入ると、程度の差こそあれ冷え性の惱みを訴へない婦人は……程であります。

元來婦人は、男子に比べて皮下組織が發達してゐる爲に、一……に觸れて見ても、異樣な冷たさを感じます

……に、日本婦人の服裝は、上半身のみ厚くて、大切な腰から下……同然といつてもよい程寒冷に曝されて居ります。……では冷えないのが寧ろ不思議……で、腰や足の冷えも、或程度……は之を病氣と考へる事は出來……ん。極く輕い冷え性なら、服……

……ますが、之は根據のある事で、動物の臟物には日光浴による照射ヴイタミンと同樣なヴイタミンDや補血の効ある鐵分等の榮養素が含まれてゐるからです。併し保健上必要な榮養素はこの他にも種々あつて、之等一二種の榮養素だけでは充分な効果が得られません。

處が面白い事に、ヘーフエといふ一種の微生物を服用すると、全身榮養の充實と、諸臟官の强壯化が同時に得られる事が判明し、近頃になつて醫學上の大發見として各國に喧傳されるに至りました。

即ちヘーフエには、前記のヴイタミンDや鐵分は勿論、凡そ人體保健に必要な各種の榮養素は、殆んど漏れなく……

婦人の惱み 荒れ 便秘の

多に入つて、婦人で最も惱まされるのは荒れ性の方でせ……

……膚に艶がなくなり、小皺が出來て寒風や水仕事等で一層荒れ易くなる上に、皮膚の美を損ねる蕁麻疹（吹出物）も、矢張り便秘の毒素の爲に起る事が多いものです。

——だから斯うした皮膚の荒れには、對症的な外用藥よりも、更に病源的療法の必要な事がどなたにも判りませう。

恰度右を裏書して興味深く思はれるのは、私が病院で『錠劑わかもと』を、便秘の人に用ひた處、便秘が恢復すると同時に、蕁麻疹……

熱河省内進出の學良正規軍夥く
僞勇軍は各所攪亂開始

熱河省内に既に進出してゐる學良正規軍は平泉に第二十九旅の王永盛、遼源に第三十旅の于兆麟、乾溝鎮に第十六旅の繆徵流、北章營子に十九旅の孫德荃等が進出してゐるが最近學良は鄭桂林の率ゆる義勇軍を以て前所、綏中、興城一帶を攪亂する爲、兵力移動を命じた、なほ關内に於ては王樹常の第二軍に屬する第十五旅(旅長姚東藩)を山海關方面に向け鐵道輸送を開始し、通州では砲兵二營を鐵道輸送中である、又天津にある第十一旅董英斌に動員を下令した、南京政府は四日宋哲元、孫殿英軍に出動を命じ、商震軍は北上する爲石家庄に列車を集結してゐる

漢、綏兩線の支軍北方に集結
天津包圍の形勢

(天津七日發國通)我が飛行機の偵察報告によれば灤州、昌黎、永平に集結された支那軍は漸次北方に移動、右一部は熱河省境に向ふものと觀られる

(天津七日發國通)平綏、平漢兩線の支那軍は引續き前線へ輸送され、殊に五日夜は數個列車の夜間輸送を行つた、天津には支那軍增派され天津包圍の隊形に配備されつゝあり

鐵道兩側二哩地域に支那兵を入れぬが
唯一の事件解決策か

(東京六日發國通、山海關事件善後策に就て我國としては別に積極的態度を取る必要なく又支那側が宣傳するが如く我軍の平津進入の如きは我國として毫も企圖して居ないので今後支那側にして挑戰的態度に出でぬ以上事態はこれ以上擴大しない見込みであら、六日外務省への報告による現地に於ける日本軍は續々原駐地へ撤收を行つてゐる、從つて今後我國としては一九〇二年天津還付に際し支那と列國の間に交換された公文に基き鐵道沿線軍側二哩の地域内には支那の武裝兵を立ち入らしめざる方針を嚴重に實行するのみであつて、右の結果山海關は當然中立地帶となるべく將來の安定を期待すべしとなしてゐる

▼(東京六日發國通)帝國政府は山海關事件の解決條件として

一、支那側の失地恢復と熱河擾乱の野心に依り而も南京廣東、張學良間の

内政的混乱の原因なる以上今後とも雖も山海關國境の安全期し難し

一、從つて山海關の永久的安全保障法は山海關地方一帶に中立地帶を設置するを至當とす

との見解を有し今後事件解決の交渉する場合は右の如く提案すると觀られるが國際關係上如何なる形式で提言するかは未決定で尚ほ政府が山海關事件の何等か解決條件を提示す可しとの報道は否定してゐる

有力な學良軍が我後方牽制
明かに挑戰の態度

(山海關國通今村特派員)撫寧より將境界嶺口街道に亘つて集結して居た學良正規軍は山海關事件後急に關外に向つて進軍を開始し、三日早朝界嶺口を出動した先頭部隊一千名は既に乾溝鎭を過ぎ遠く喇乾洞北章營子に出現し主力部隊は昨五日乾溝鎭に入り後續部隊二千名は目下双山子附近を乘馬と徒歩で砲車廿余輛を從へ北進中である事が判明した、思ふに北寧線上で我軍に對峙の姿勢を取りつゝある學良軍は別動隊として有力なる正規兵を熱河の山地から綏中方面の我軍の後方に迂廻せしめて牽制せんとする作戰と見られこの學良軍の挑戰的態度は我軍の重大視する所となつて居る

僞勇軍總元締朱慶瀾熱河に乘込まん
滿洲國攪亂と指揮に

(北平六日發國通)中央及び學良の壓迫により湯玉麟が熱河省内に入れた僞勇軍は目下三萬に達し更に省内土民軍にして中央より買收せられたもの湯玉麟的兵匪は二萬を數へ之等を台体として滿洲攪亂の大運動を起すべく僞勇軍總元締たる朱慶瀾は近く熱河に總司令部を設けるため湯玉麟の納得を了した

熱河一帶は既に十萬の大兵
正規軍匪賊を交へて大賑はひ

(錦州六日發國通)滿洲國攪亂、反滿抗日の目的を以つて動員され熱河に侵入した學良の正規軍は其の數三萬を突破し熱河の要所に堅固な塹壕を構築戰備を整へて居るが熱河全省に於ける兵力は既に十萬を遙かに超えてゐる。尚其所屬は左の通りである

△湯玉麟軍　三萬
△學良正規軍　三萬余
△馮占海軍　二萬
△馬占山舊部下軍　一萬
△僞勇軍　二萬

宋、孫、商等雜軍も出動か

南京政府は四日宋哲元、孫殿英軍に出動を命じ商震軍も亦北進する爲め石家莊に列車を集結してゐる

秦皇島居留民留守宅を支那軍民が掠奪
守備隊長嚴重に抗議

(天津六日發國通)我が秦皇島守備隊長は居留民の軍艦引上げに際し支那公安局長及び同地駐屯軍隊長に對し居留民の財産保護に關して嚴重な警告を與へたにも拘らず、四日午前從來の駐屯支那軍隊が某所に移動後第二十六旅が侵入し四日夜から掠奪を擅にし邦人に對して報復的行動に移り邦人家屋は特に破壞され家財道具一切持去られ邦人の使用支那人を襲擊し邦人關係者に暴行を加へる等言語同斷の擧動に出でたので、六日守備隊長は公安局長に嚴重抗議を提出し第二十六旅に責任者の處罰損害賠償を要求した、尚ほ第二十六旅は目下沙山の開灤ゴルフ場附近に兵力を配備中である

津田司令官正式に支那側に警告

(天津七日發國通)軍司令部公表、秦皇島支那兵の邦人家財掠奪事件に關し第二遣外艦隊津田司令官は六日正式に支那側に嚴重警告を發し損害賠償についてはその權利を留保する旨通告した

山海關の治安維持
治安維持會を設置

(錦州六日發國通)山海關の支那軍敗兵と共に縣知事も逃走したので治安は目下鈴木部隊、山海關守備隊の手によつて維持されてゐるが五日午後三時總商會長、公安局長等參集の結果山海關治安維持會を設置し會長を選舉六日から同地の治安は維持會の手に移ることになつた

學良直系軍大部分を
續々前線に輸送す

熱河省に進出してゐる張學良正規軍は平泉に第二十九旅(王永盛)が凌源に第三十旅(于兆麟)乾溝鎭に第十六旅(繆徵流)北章營子に第十九旅(孫德荃)等であるが最近張學良は鄭桂林の率ゐる僞勇軍を以て前所、綏中、興城一帶を擾亂する爲めに兵力移動を

九門砲臺に鄭桂林軍集結
山海關北五里

(錦州六日發國通)退却した何柱國軍は更に石河右岸地區に塹壕を構築、一方山海關北方五里九門砲臺に鄭桂林軍集結同時に第十旅は石門寨を經て熱河、明水、新民安附近に隊伍を組んで前進、後方より綏中を衝かんとしてあくまで挑戰的態度を持し、かくて山海關の安全は日と鼻の先きから脅やかされる結果となつた

命じてゐる、尚ほ王樹常に屬する第十五旅(姚東藩)を山海關方面に向け鐵道輸送を開始、通州では砲兵二個旅を輸送準備中であり、又天津に在る第十一旅(董英斌)にも動員を命じた

自己保存の立場学良態度

(北平六日發國通)山海關事件に關する地方的解決交渉は兩三日來停頓狀態にあるが、は支那側に未だ確たる議論の統一無きが爲めで採科等廣派の强硬論に引づられつゝある中央政府は學良に對し山海關奪還を命令し、又商震、龐炳勳兩軍に對しても出動を命令したが學良身邊の有力者中には之以上日本軍に挑戰するは徒らに自滅の一途を早めるに他ならずとして强硬に反對するものもあり學良は消極

聯盟決議原案成立の見込
大國側も我國

(ジュネーヴ六日發國通)十六日の十九ヶ國委員會開催を前に聯盟側では山海關事件を表面は騷ぎ立てず靜觀してゐるが、聯盟殊に大國側は昨年末の決議原案を何とかして成立せしめんとの希望を捨てず昨日佐藤代表よりの公電によるとイーマンス議長は依然强硬案を支持し日本政府の受諾を强要し英國大使リンドレー氏も内田外相を訪問して日本政府の讓步を要求し、斯くて大國側は我が政府を屈服させて決議原案を採擇せんとの意向なることが判明したがこ に對し我が政府では原案修の要求が容れられねば寧ろ

世界經濟の動向と(二)
鮮滿財界の前途

朝鮮銀行總裁　加藤敬三郎

米國に於ては好況期に過度に膨脹せられた信用の凍結と、正貨流出並通貨蓄藏に因る預金引出との爲に銀行の破綻續出し、金融界は一昨年秋以來著しく惡化しつゝあつたが、其後當局は諸種の對策を講ずると共に昨年來頼りに擴張政策を採り、聯邦準備銀行は加盟銀行に巨額のクレヂットを與へた結果、金融界は六月頃より漸次安定すると共に蓄藏通貨の還流に因る預金の增加となり、一方にはイヤマーク減若は正貨流入に因る金保有高の增加を來した結果金融界は稍安定し、銀行の手許は堅實になつた、併し資金は依然として產業界を潤ほす迄には至らず、生產工業は前年に比し減して低位にあり、貿易の如き輸出入共前年に對比し各三割以上を減してゐる、斯くて米國財界の實情は金融界を始め局部的には多少の改善をみるも全般的には好化を見るに至らず、一方大統領選擧は民主黨の勝利に歸したが其の政策を具体的に見定め得る迄には尚相當の時日を要し殊に戰債問題、關稅問題乃至赤字財政整理、一千萬を超える失業者救濟問題等を擧げ來れは其の前途には幾多の難關が横はり、此後徐々に之が回復を期待し得るに過ない狀態である

要するに最近に於ける歐米經濟界は金融方面其他局部的に稍々改善の蹟を示すか如くなるも一般には尚好轉の機會に惠まれず、前途容易ならざるものがある、而も戰債整理問題の停頓は獨り國際經濟上に大なる暗影を投するのみか

對日滿軍事重要協議
蔣介石等要人が

(南京七日發國通)蔣介石は七日早朝南京の軍官學校内の私邸に何應欽、羅文幹等を招致して山海關事件の對策及今後の北支軍事行動に關する重要協議を遂げる筈

けたが支那側は依然後方線に兵力を集結し極度の緊張が東軍全線の空を覆ひ嵐の前の靜けさを思はしむるあり我軍は意氣軒昂敵來らば一擊せんと身構へて居る

移民は有望だ
務次官視察談

米でその他は味噌しる、澤庵が健康狀態は頗る菜類は白菜、豐富にあるかぶ

三、日常品を購入する現金を如何にして得るか、これが爲めには羊を飼ふことにして居る、羊は一年一回毛を刈ると一頭につき五圓の利益がある百頭で五百圓だがこれで充分日常品を購ひ得る

四、移民の大部分は獨身者であるが、その性的問題を如何に解決するか、これは隨分考へさせられた、非常に狂暴性を帶びて來て殺傷沙汰で除名處分にされた者が五名出して居るがこれも一寸の辛棒だ、來冬迄には花嫁さんや家族を呼び寄せる豫定が出來て居る

之れを要するに自衛移民は將來の移民の試金石であつて現在の農村不況の最大原因は農村が自給經濟から交換經濟に移つたことにあるのだから、あくまで自給經濟を根本原則としてビールから酒に至る迄自給自足でやれる樣にする考へで居る、佳木斯農業實狀は農業面積二萬四千町歩、不可耕地十千町、歩可耕地一萬七千町歩で内五百町歩は水田になり得る、一人當りの耕地面積は十五町歩で現在の自衛移民數五百、將來更に五百を同地附近に移民させる考である水田五百町歩中假に二百町歩完成したとして一段約一石五斗で三千石出來るらだから消費量一人一年一石として千戶(一戶平均三人)は養ひ得る譯だ、今年は差當り陸稻と水稻約五町步の植付をやる事になつて居るが漸次大麥、小麥、大麻、青豌、粟、高粱、米、大豆、小豆、えんどう等の播種をもやる、自分は今度の視察で確信をもつて移民は確に有望だと斷言する、此點國民の充分なる理解を望みたい

滿洲移民の輝やかしい前途を說明したい、云々

因に堤次官一行は七日午前時新京列車で奉天に直行撫順炭坑を視察の上八日安東經由歸朝の途に就く

鮑代表外相訪問
新年の挨拶

(東京六日發國通)滿洲國駐日代表鮑觀澄氏は六日正午外務省に内田外相を訪問し十分に亘り會談したが右會見後鮑代表は次の如く語つた

本日の會見は單に内田外相に對する新年の挨拶に過ぎない、滿洲國の駐日公使問題は未だ本國政府に於て制度草中であつて具体的なことは決定してゐないが追つて自分は近く本國に歸るか或は別の人が來るかそれとも決定しては居ないこれから色々考へて見る心算である、云々

日銀の兌換券及準備金

(東京六日發國通)日銀(單位千)

兌換券發行高　一,四〇[illegible]
正貨準備　四三五、〇[illegible]
保證内譯
公債　五〇八、〇[illegible]
政府證券　四〇、五四[illegible]
證券　一四五、六[illegible]
手形　二六八、九[illegible]

人事往來

▲西原二等主計正(交通[illegible])六日午前九時南行
▲内田工兵大佐(鐵道第[illegible]隊長)六日午前九時三十[illegible]ハルビンへ
▲榮孟枚氏(吉林敎育廳長)六日午後〇時三十分吉林へ
▲春日兼三郎氏(帝國在鄕軍[illegible]會大連[illegible]理事)六日午[illegible]〇時三十分南行
▲末松義太郎氏(月刊雜誌[illegible]長)同上
▲中井步兵少佐(關東軍司令部附)六日午後四後來京
▲羽山少佐(騎兵第一旅團副官)六日午後四時三十分[illegible]行
▲宮脇步兵少佐(關東軍司令部附)六日午後七時五十分來京
▲吉賀少佐(關東軍司令部附)六日午後十時奉天へ
▲劉佩臣陸軍少將(暫編警備第二軍第五支隊長)同上
▲寶[illegible]步兵大佐(騎兵軍[illegible]課)七日午前八時來京
▲渡邊一等獸醫正(第六師團獸醫部長)同上
▲保輔忱氏(吉林省實業廳長)七日午前八時三十分吉林へ
▲中村大佐(第十九師團參謀長)七日午前九時南行
▲葉山少佐(獨立守備六大隊長)同上
▲王殿柏氏(暫編警備第二軍第四支隊長)同上
▲堤(拓務政務次官)同上

佳木斯移民團を匪賊再襲ふ
交戰一時間にして擊退

〔新京七日國通〕佳木斯に在る我武裝移民團は五日午前十時頃又も宋竹梅の率ゆる匪賊約千名の襲擊を受け、一時間に亘り之と交戰した、敵は砲、機關銃を有する有力なもので同夕刻宿營地を距る五六キロの地點に接近しかざかしくも照明彈を合圖に一擊正面より襲擊すべく計畫してゐたが、早くも形勢險惡と見て取つた市川移民隊長は沓澤豫備中尉指揮の團員二百名をして大膽なる奇襲を敢行せしめ城內外に於て猛烈なる砲火を交へ遂に敵を西方に潰走せしめた、幸にして我方には何等の損害はなかつたが敵は今尚ほ附近に潛伏せる模樣で、今曉來我武裝移民團は總動員で引續き嚴戒してゐる尚ほ當日は偶々堤拓務次官小川同書記官の一行も現地に在つたが我武裝移民團が少數を以て良く多數の敵匪を擊退せる奮闘振りにいたく感激し心からなる讃辭を呈し此上もない生きた土產は出來たと喜んで居る

兩陛下九日葉山に御靜養

〔東京六日發國通〕天皇陛下には新年の御行事も八日の陸軍觀兵式を以つて一先づ了へさせられるので　皇后陛下と孝宮、順宮兩內親王殿下を御同伴御靜養の爲め來る九日葉山御用邸に行幸啓遊ばされる旨六日仰出された、十九日兩陛下御揃ひで宮城に還幸遊ばされる御豫定である

照宮內親王御歸京

〔東京六日發國通〕舊臘二十二日以來葉山御用邸に御滯在中であつた照宮成子內親王殿下には九日より新學期が始まるので七日午前十一時十八分東京驛御着車御歸京あらせられた

天野〇團の謝狀

天野〇團から左の謝狀を本社に寄せ周知方を申越した

內地歸還に際して御禮

謹啓益々御健勝の段奉賀候陳者旅團が一昨昭和六年四月滿洲に駐劄引續き滿洲事變に出動間は公私共に格別の御懇情と熱誠なる御後援とを添ふし御陰を以つて大過なく無事本務に邁進する事を得たるは一に將士の忠勇に依るとは言へ銃後の各位の御後援の賜と深謝感激罷在る次第に御座候今回內地歸還の大命に接し申し候に就ては感慨轉た切なるもの有之候か步兵第十六聯隊は去月三十日遼陽を出發して既に故國の山野に接し本書到着時には既に夫々新發田及村松に歸還しある事と存じ居候又當司令部及步兵第三十聯隊は來る十四日旅順出發十九日宇品着二十一、二日頃高田に歸還する事と相成るべく就ては更に一層の御懇情に浴する事と存じ居候

何分事變間は眞に東奔西走作戰に兵匪討伐に或は治安の維持等に寧日なく活動し爲めに寸時の偸安を許さざりし爲め平素失禮にのみ打過申候段は何卒御容赦被下度候

茲に御無沙汰御詫旁々近く祖國に歸還するに當り謹んで睦の誠意を以つて衷心より深く感謝の意を表し申候　敬具

昭和八年一月四日
步兵第十五旅團司令部
陸軍步兵曹長　池龜重作
同
陸軍步兵大尉　樺澤寅吉
陸軍步兵大尉　池田秀夫
陸軍步兵少佐　矢田晴好
陸軍少將　天野六郎

附記前任旅團副官步兵大尉栗栖猛夫は昭和七年四月の異動にて目下千葉陸軍步兵學校に奉職中に付本人に代り厚く御禮申上候

滿洲國軍奮戰し匪團を擊破
匪首天照應身をもつてまぬかる

先に林甸附近から天照應を追擊中であつた騎兵第十團宋樹聲、第十三團張魁英、第六團馬廣富、は天照應を含む敵を大通鎭西南地區に於て擊破し之を潰滅せしめ一月五日安達驛に歸還した、同匪團は戰場に死体百七、馬七十七、迫擊砲十二門、輕機關銃小銃多數を遺棄し僅に手兵を率ゐ東方面に逃走した

來る春をよそに邦人青年の自殺
寬城子街道踏切附近で貨物列車めがけ飛込む

七日午前六時頃新京驛々夫劉海山が構內信號所（寬城子街道踏切）附近に一邦人青年の轢死しゐるを發見大騷ぎとなり、直に新京署へ通報同署よりは平林警部補外數名の警官が時を移さず現場へ急行檢死を行つたが

同日午前三時半新京發貨物列車が同所を通過する際覺悟の飛込自殺をはかつたものと推定された、尙原籍等は不詳であるが最近まで朝鮮全羅南道潭陽郡大田面大峙里公立尋常高等小學校の訓導を勤めた江崎繁雄（三）である事が附近に散在してゐる遺留品中の名刺によつて判明した、死体はただ上白下茶のメリヤスの肌着のみで首及び肩胛部を轢斷されて約十米程引づられ首は線路の如く三重、四重と撚られ附近の線路は血痕で眞紅に染まり目も當てられぬ慘狀を呈して線路の反對側には書籍の風呂敷包、ウイスキー瓶、パン茶色中折帽子等の遺留品が點々として散らばつてゐた、前途あるうら若い身空で死の道を辿らねばならない原因については遺書等はなく不明であるが相當こみ入つた事情があるものと推定され、前記江崎は五日奉天を經て來京したもので朝鮮には妻をのこしてゐる模樣である、檢死の結果によれば体に注射した痕が一、二ケ所歷然としており遺留品中には丸藥、水藥等がありこれより推して質の惡い病氣をにしての自殺ではないかとも見られてゐる、新京署では直ちに前記住所へ打電照會中であるから其の返電に接すればほぼ原因も判明するであらう、なほ死体は地方事務所の手に依つて火葬場に運び返電を待つてゐる

多門將軍
故國での第一夜

〔廣島六日發國通〕多門將軍は內地での第一夜を明し午後一時廣島偕行社で當地の歡迎會に出席し、知人と舊交を溫め午後零時十七分廣島發軍列車で先づ師團司令部と野砲第二聯隊第二中隊が原隊へ歸還の途に就いた

早大ラグビー團上海へ遠征

〔東京六日發國通〕今シーズン全日本の覇權を握つた早大ラグビー蹴球部は八日神戶發の長崎丸で上海に遠征することとなつた、上海に於て上海倶樂部、英國軍隊、オール上海と對戰し二十五日神戶歸着の豫定である

早蕨の捜査中止

〔馬公六日發國通〕要港部着電によれば、早蕨の遭難現場は荒天續きで作業困難を極め昨日の如きは作業中の驅逐艦も基隆に避難のやむなきに至つた

宣撫工作班　涙ぐましい活躍

〔綏稜國通秋田特派員發〕今回北滿東部國境方面の作戰に協力すべく特派せられたハルビン特務機關原田大尉以下の宣撫工作班三十名は常に第一線に立ち裝甲列車に便乘皇軍の占領地到着と共に出迎へた官民に對し皇軍の作戰の眞意義に關し說明或は講演により又は宣傳文の散布ポスターの貼付等により專ら民心の安定に努力した結果は民衆に安心と信頼を與へ皇軍の行動は全く一般の諒解する處となり各地共人心は頗る安定し商家の如きも常の如く營業を續けつつあり宣撫班は多大の效果を收めつつあるが一方更らに危險を冒して各地の情報蒐集に奔走し軍の行動に貢獻する處も尠なからず原田大尉以下の活動は實に涙ぐましきものありその功績又偉大なるものあり敬慕の的となつてゐる

莊河縣官民から軍司令部へ謝電
慶祝大會に方りて

去る五日莊河縣に於て催された慶祝大會に方り莊河縣官民一同の名を以て次の謝電を關東軍司令部に送て來た

思ふに我滿洲國莊河縣は昨年三月より匪賊蜂起し住民塗炭の苦に遭へるか幸に貴國岩田〇隊長は强軍を率ひて討伐を援助せられ一擧掃蕩して匪禍を除き我民を水火の中より救ひて安住せしめ皆厚恩を感戴するに至り莊河全縣にて祝賀大會を擧行すると共に官民決議の上謹て電報を以て感謝の誠意を表す

陣中美談
南滿三角地帶（上）
平定の殊勳者　勇敢無比の木下兄弟

戰塵の陰に活躍する二少年感激の看護兵

岫巖城危險に瀕すの報に接し十二月二十三日午前九時錦州出發、出動せる第一〇三三號（中隊長蔭田大尉操縱、木下中尉偵察）は午前十一時過ぎ岫巖上空に於て敵の猛射を浴び偵察者木下中尉は當に左大腿部骨折貫通銃創を蒙れり、當時の狀況を知る者中尉平素の言行と照し合せて其の心境に想到し齊しく感激す此に陣中の美談たり今回三角地帶（三角地帶とは安奉線及蘇家屯、瓦房店間南滿本線並に東州北線及碧流河口より鴨綠江に至る海岸線を以て圍繞する地域を云ふ）の討伐はゆくりなくも木下家と非常なる關係を持つこととなつた、即ち十二月十六日土城子に於て令兄木下中尉滿洲國靖安遊擊隊副官は大刀會匪の襲擊を受け隊長森上校と共に敵匪數十名をたをしたる後勇ましくも戰死したのである、當時大石後に在つて本討伐に協力中の飛行〇〇〇隊第〇中隊木下春二郞騎兵中尉は之を聞き肉身の情、流石に深く復讐の念に燃えて居た、二十一日討伐初期の目的を達成したので飛行中隊も一旦根據地錦州に歸還した、然るに廿二日午後に至り情況急變、岫巖附近再び不穩となり岫巖部隊の連絡杜絕の報に接するや木下中尉は自ら此の方面出動を志願した、亡兄の仇を思ふ心中察するに餘りあり

二十三日午前九時八八式偵察機第一〇三三號（操縱藤田大尉偵察木下中尉）は先づ大石橋、次で岫巖に着陸し直接岫巖部隊と連絡して情報を得て歸るべく東南に向け錦州を離陸かくて大石橋に着陸し更に同地を出發し山地帶に入ると連山は白雪に掩はれて居た、常に餘裕を持つてゐる木下中尉は操縱者藤田大尉に傳聲管にて「吾々が歸つてから又雪が降つた樣です實に奇麗です」と話しかけた丁度赤倉附近の樣な雪の山景色だ午前十一時頃岫巖の上空に達した岫巖はもつと平穩だと思つて居たが上空へ來て見て驚いた城內には日本兵が居るらしく日の丸と滿洲國旗が出て居たが城壁には兵が據つて四周に向つて射擊してゐる敵は近いらしいが見えない兎も角高度を取つて落着いて敵情を搜索する事にした

見ると岫巖の四周の山には敵が大分居るらしい城壁にも敵が近寄つてゐるらしい、と云ふのは敵は見えないが雪の上についた足跡の止つてる所で想像したのだ

木下中尉は一一傳聲管でこれ等の敵情を操縱者に傳へた此の調子では岫巖の隈崎中隊は全滅するかも知れないと思つた飛行場は城外二千米位の所にあるが此の時日本兵が十名許り散開して飛行場に走つて行く、木下中尉は又も傳聲管で言つて來た「岫巖部隊は着陸連絡を希望してる樣です」そこで兩名は死を賭して敵前着陸を敢行する事に一決して直に發動機を「スロー」にした螺旋降下を三回、それから滑空で飛行場に向つた爆音が靜かになると敵彈の「パンパンパン」猛烈に集中されてゐる音がする高度五十米位に下つた時何時もの樣に明瞭な傳聲管の聲で「中隊長殿木下はやられました大した事はありません大腿部です」と云つて來た操縱者は然し餘りに落付いてゐるので何敵の彈丸たつてかすり傷だらうとは思つたが一度發動機「レバー」を入れて高低を取つた、それ程木下中尉は平素と變らなかつたからだ

特產輸送保險　裝甲自動車
協和會撫順辦事處が

滿洲國協和會撫順辦事處には物產輸送保護の爲政府より裝甲自動車を借り入し一月五日丸川氏外五氏が試運轉の爲來奉中央事務局に到着各方面に相談をなし六月より使用する事になつた

民衆の生活面に觸れた協和會
綏化辦事處出口氏語る

北滿綏化に去年六月一日赴任して奮闘した出口綏化辦事處員は五日奉天の中央事務局に歸任同地の狀況を左の如く語つた

綏化の街は今では協和會でなくてはいけないと云ふ程隨分街の人が理解して來れ鮮人との問題經濟問題等何でもどうしたら良いかと聽きに來ます、十二日の始から廿八日迄鹽を一萬一千台（馬車）四十五萬圓運搬させました、綏化、慶城外三縣の經濟的再興を期するために五縣の聯盟をつくり共同的にせる事になりました未だ匪賊も居りますので聯合して徹底的に宣傳もしようと思つてゐますハルビン長春、奉天、大連などを見たことのない人の多いから春になつたら見學團を組織して南滿を視察させる樣と計畫してゐます、自警團も訓練が立派に出來警備隊に採用されました

醉漢暴行

市內日本橋通某百貨店洋服仕立商伊藤幸吉（三七）假名は未だ屠蘇の香に名殘りを惜んでか六日午前三時頃へべれけに醉つぱらつて三笠町三丁目鮮人料理店批闕館に行き暴行を働き抱酌婦錦子（二〇）の腰部に全治五日間の傷を負はせる等手の付け樣がないので訴出により泥醉者として新京署へ連行保護を加へ七日朝嚴重說諭の上歸へされた

滿洲國の警官改善
全力を傾ける民政部

第一期的匪賊討伐の將に終了せんとする時來るものは全滿警備機關の充實である、所謂從來の全警察官の卅パーセントは文盲であり、不良警察といふより、無賴漢の集團であつた舊軍閥時代の警察は奉天省五十萬元、吉林卅二萬元、黑龍江省八十五萬元、の給料不拂があつたといふのだから、殊に下級警察官吏は惡質だけでなく舊當局の罪惡の一つとしての置土產であつた、この素質低級にして人民保護は名のみの警察官吏を改善すべく滿洲國政府は各省當局と銳意努力した結果、先づ警察官の不良なるものは整理し新採用の者には正規の採用試驗を行ふと共に奉天其の他數ケ所の土地に警察官練習所を設け例外なく警察、消防、衞生に關する一般技術を授け新京には中央警察學校を昨秋開設して目下各地の優良警官を收容し高等警察を敎授し一方日本に廿余人の留學生を特派する等躍進的設備をなすと共に從來の警官が最も苦んだ給料不拂といふ缺點を除去すべく財政の許す限り高給を支給してゐるので喰へないから惡い事をする支那式警察官は漸次其の跡を絕つて好成績を示しつつある此の改善に力を得た民政部警務司では急速度に全國の警官を改良すべく日本の例に倣つて航空警察、警察電話、警察無電を設く可く目下具体案を作成中である。斯くて改良された滿洲國警察は關內の治安維持鼠賊の討伐等に軍隊と相連携して其職能を完全に發揮するに至るであらうと期待されてゐる

第卅九幡州丸乘組員全部
特務艦鶴見に救助さる

〔東京六日發國通〕六日海軍省着電によれば特務艦鶴見は五日午前十一時半北緯廿九度四十三分東經百廿六度十九分附近で漂流中の卅二名を救助した

右は長崎の發動機船第卅九幡州丸船長桑原友吉以下の船員全部で五日午前四時右地點附近を航行中浸水及火災のため本船を棄て傳馬船で漂流して居つたものである

帝都の消防出初式

〔東京六日發國通〕帝都消防出初式は午前九時四十分降りしきる雨の中を新市域をも加へて宮城外苑で山本內相、秦憲兵司令官各國大公使臨席の上擧行された

故本山翁の告別式
六日大阪で盛大に執行

〔大阪六日發國通〕大阪每日東京日々新聞社長故山本彥一翁の葬儀は六日正午、大阪四天王寺本坊で執行された、式場は各方面からの榊、花輪で埋められ齋藤首相以下の弔辭弔電、披露、遺族の燒香あり、二時より一般告別式に移つた數千の會葬者は淚新たに翁の靈魂を送つたが、此の日一個大隊の儀仗兵がたち近年稀な盛會であつた

新京署司法係が强盜大檢擧
初手柄に大勇躍！

新京署司法係員は初捕物の大手柄をしたそれは先日來市の內外を荒し廻つてゐた神出鬼沒の强盜犯人で谷口刑事一行ははかねて强盜被疑者として搜索中の張某（假名）以下三名が市內某所に潛伏中を逮捕目下取調中である、尙ほ七日拂曉新京署員數名は公主嶺署員と協力城內某所へ潛伏中の市內荒し强盜犯人劉某（假名）外二名を逮捕嚴重取調中で司法係はにはかに活氣を呈しその取調室もくも大入滿員である

ラジオ放送

一月八日番組　奉天放送局
新京后五、〇〇　レコード
新京后五、二〇　演藝
新京后五、四〇　講演　山海關問題ノ眞想　遼寧通信社特派員　唐光路
東京后六、〇〇　ニユース　東京中央放送局編輯
新京后六、二〇　時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニユース
新京后七、三〇　ジヤズ　新京會館ジヤズバンド
新京后八、〇〇　ニユース（朝鮮語）
新京后八、一五　ニユース　氣象豫報、放送局編輯プログラム豫告
東京后八、三〇　時報
東京后八、三一　ニユース　東京中央放送局編輯

一月九日番組　奉天放送局
奉天后五、〇〇　レコード　錢行金銀相場
新京后五、二〇　演藝
新京后五、四〇　講演　滿洲國衞生行政ニ就テ　民政部衞生司長　張明[illegible]
東京后六、〇〇　ニユース　東京中央放送局編輯
新京后六、二〇　時事解說（朝鮮語）氣象豫報及ニユース
新京后七、三〇　ニユース（英語）
新京后七、四五　ニユース（露西亞語）
新京后八、〇〇　ニユース（朝鮮語）
新京后八、一五　ニユース　氣象豫報、放送局編輯プログラム豫告
東京后八、三〇　時報
東京后八、三一　ニユース　東京中央放送局編輯

氣溫と天氣

八日の氣溫最高零下一度七最低零下九度四、九日の天氣南西の風晴のちくもる

凄艶紅涙双

（上段上段）鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

（一七二）

――さ、見ろや、式部は、あわてゝ、その後に、つゞいた。

草陰は、さすがに、面も上げえず、そのまゝ、こそ／＼奥へ急いだ。

思はぬはずみで、たうとう會議は、決裂してしまつた！

女鹿星台阿部の三士、いまはたゞ、唇を嚙んで、互ひに顔を見かはすばかり――

北田、米内等、歸國説の連中は意氣昂然、聲高かに話し合ひながら、席をたつた。

「止むをえぬ、後日を期さう」

阿部鐵之助、はら／＼と、頰に流れる涙をふり拂ひ、張然として同志をうながす、

「うむだが今となつてはな」

力なげに應じて、二人も、連れたつて、廊下に出た。

空咳をしながら、一歩前をゆく盟友鐵之助の變れ果てた後姿―

雄馬は、その肩を叩いて、やさしく慰めた、

「女鹿！今夜は、靜かに身體を休めてくれよ、明晩までには、必ず、阿部と今後の方針を定めて、報告に參るから！」

「うむ、宜しく頼む。だが、もう警戒を要するぞ。裏門から忍んで來てくれ」

――雄馬は、玄關先きで、鐵之助と別れた。阿部とつれたつて、五六歩。――併し、役の耳には、あの苦しさうな咳が、尚は、いたいたしく響いて、たまらないのである。

「阿部、濟まぬが、一足先きに行つてくれ。俺は不安でならぬ。も一度、女鹿に養生をすゝめてくる。」

「ああ、さうしろ。俺は、河龜で待つてゐる」

さういふ阿部の言葉を背に聞いて、雄馬は、すぐさま女鹿の部屋へ取つて返した。――友は、まだ寢もやらず、小机の前に端坐したまゝ、默想にふけつてゐる。

「女鹿ぞ！それがいかん。譲てくれ、この上、心氣を昇らしては、病に障る！」

「なあんだ、そのために、わざわざ戻つて來たのか」

「お、どうせこんなことだらうと思ひ、不安でたまらなかつたので――」

「いや、俺の身體なんぞ、心配はいられ。かくつて、君らの身邊こそ、注意せぬと危いぞ！」

「えッ！どうして、俺たちの？――」

「わからぬか、一徹な佐渡のことだ、あくまでも、異説を張り通した阿部や君を、そのまゝ棄てておくものか！俺にはどうせ、動けぬ身體と思つてゐるから、危害も加へまい。けれど、此の際どんな陰謀を企てるかわからぬ君らを、だから、先刻も、明日來るなら、佐渡はだまつて見てる筈はない、警戒を要するぞ、と云つたではないか！」

「成程、さうだ。では、早速阿部にも、さう云つて――」

「うむ、早く警戒しろ」危險だぞ。」

「よし、ぢア、鐵之助、大事にしろよ」

「有難う君も注意を怠るな」

云ひ放つて、またも咳込む友と別れ雄馬は宙を飛んで阿部の後をおつた。――女鹿の注意で、どうやらゆきつけの河龜に落ち付くのが危險に感じられたからである。

――淡い月影が、人通りも絶えた淋しい道をぼんやり照らしてゐる。

かなたに小黑く浮ぶのは大雲寺の山門。――道はたに伸ひ垂れた老松の枝が夢のやうに行く手をかすめてゐる。

――さ、ふいに、耳許に、斷續して響く、うめきの聲！」

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一ヶ月金八十錢
郵税 一ヶ月金十五錢
廣告 一行金一圓廿錢
特別 相談
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三二二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

我軍は自衞上より一步も出ず
青森の兵は猛烈に強い
錦州に歸つた河野參謀語る

【錦州六日發國通前田特派員】鈴木〇團と共に二日當地發山海關に到り終始戰鬪に參加した錦州〇團河野參謀は今後の對策協議並に現狀報告のため昨日午後飛行機で當地着小林參謀長と協議を了へ六日再び山海關に引返すことになつたが歷訪の記者に左の如く語つた

山海關は日本軍の占據後治安も漸次回復し住民も平靜に復しつゝあるからもう大丈夫だ、事件の發端並に日本軍の戰鬪開始の已むなきに至つた理由は第一に充分世人に諒解させて貰ひたい支那側の我憲兵隊に對する爆彈投入、何柱國の協定無視二日の不法射擊等全部敵の挑戰的行爲で我軍は良くあれまで隱忍したものと思ふ、次に特筆して貰ひたいのは我鈴木〇團の鈴木列車乘込みで、我鈴木〇團は二日午前五時奉山線の終點山海關に達するや敵は城壁より一齊に射擊を開始したが我軍は既に敵を呑むの慨あり、終始沈默のまゝ山海關驛まで列車乘入の冒險を敢行した、而して最後の列車時間たる九時に至るも支那側より何等回答なく遂に午前十時より總攻擊を敢行するに至つた、南門に天津軍東門に第〇〇隊中央に第〇〇隊を派し、三者一齊に前進亂擊二時間に亘り突擊の喊聲起るよと見るまに中央の城壁にひらひらと日章旗が揚り、間髮を入れず左右の城壁とも我軍の占領を見た、後方にあつた自分はこの時限りなき感慨胸に迫つたことはない、自分は濟南城攻擊に參加したがこれが占據には二晝夜を要した、今回の敵の裝備はそれに勝るも決して劣つてはゐない

滿洲事件始まつて以來城壁攻擊は今回が始めてだ、夜に入りはしないかと危惧した自分は豫想外の僅か二時間と云ふ記錄的城壁占據に實に青森の兵隊は強いと感激した、各部隊の連絡の良かつたことゝお互に功を讓る謙讓の美は實に滿洲事件以來始めて見る美しい場面だ、午後三時城內占據後は今日まで日本軍は一步も區域外に出てゐない、勝に乘じた第一線の兵を喰止める我々の苦衷を察して貰ひたい、我目衞行動より一步も出てゐないことは第一線を偵察した、佛伊兩國武官並に英、米居留民も良く了解したことと思ふ

落合部隊の
損害確數
戰死四名負傷十五名

【天津七日發國通】軍公表によれば、天津駐屯軍管轄の在山海關落合部隊の損害に就いて其後衣質なる數字を得たが左の通り死傷計十九名である

戰死　四名（中尉二名下士一名、兵一名、）

負傷　十五名（大尉一名、下士三名、兵十一名）

韓復渠軍
北上を準備

【天津七日發國通】確執によれば山東省の韓復渠は學良軍の熱河、山海關方面移動のごさくさに乘じ商震その他雜軍

韓復渠等を始め
北支雜色軍
對日戰線に立つ
を決意か？

【天津七日發國通】山東主席韓復渠は北支將領會議後南京に向ふ筈であつたが山海關事件發生しその成行を見て居たが今回東北軍援助と稱して韓軍を北上せしむる意向なることを學良に報告し來つた、また閻錫山龍炳動も同樣抗日のたに起つことを請願し孫殿英は約二ケ師を保守まで移動せしむる計畫であると

北平地方の
治安維持
商震軍を北上させる

の移動に對應して自己の軍隊を津浦線に沿ふて北上せしむべく既に全軍に對し待機命令を發した、山東軍の河北省進出は北支の勢力關係に重大關係あり同軍の動きは最も注目されてゐる

【北平七日發國通】學良軍の前線出拂ひにより北平地方の治安維持につき中央と打合せ中だつた學良は紛糾長引くさ覺悟し愈々商震の第三十二軍中の大部分を平漢線で北上せしめ當地西苑及び南苑に入らしめるに決し既に一部は移動を開始した模樣である又平綏線宣化にあつた學良軍第十五旅二千五百名唐山方面に向け出動しその後へは宋哲元軍が入ることになつた學良は山西軍に對しても出征の督促を發した

永井松藏氏
獨逸大使就任を受諾

【東京六日發國通】內田外相は午前十一時外務省に永井大使の就任方を正式交涉し受諾したので之を決定し獨逸政府にアグマンの手續きを執つた

支那側の蠢動をよそに
建設に一路邁進
滿洲國外交部の意向

山海關事件に對する南京政府の飽くなき挑戰的態度により國境の風雲益々急なるものがあるが六日滿洲國外交部當局は次の如き意向を一もした

「滿洲國としては向ほ多難なる建設途上にあり徒らに事を外に構ふるは欲しない、故に事件の不擴大と地方的解決は等しく之を切望する所である、之に反し南京政府は本事件を聯盟に逆用せんとし或は張學良を煽動して大軍を動員せしむる等其の態度は全く狂的といふ外ない、且つ通電に、聲明に狂奔し地方的問題を日本の挑戰的回答は求めて平津地方に在天津日本軍に殺せる挑を焦土と化し自らの墓穴を掘らんとする血に飢えた狂人の態度である、又南京政府は學良と日本軍とを一戰せしめ二十萬の學良軍を他力により粉碎し自己勢力を北支にまで延ばさんとの下心あるは明かであるが滿洲國としては斯る饒舌の徒の逆宣傳には一顧だに要せずたゞ一路建設の正道を邁進するのみである」

日本軍の入城で
ボ市全城に
歡喜の聲擧がる

【ポグラニチナヤ六日發國通】五日皇軍のポ市入城を歡迎したる滿洲國側有力者は軍主腦部を驛食堂に招待、歡迎會を開き、竹本枝隊長は起つて一場の挨拶を述べ籠を盡して散會、市中到る所に宣撫班の宣傳ポスター貼付され、住民中には未だ滿洲國成立を知らざる者あり、ポスターの前には多數の蒲人お蝟集してゐる、斯くて我軍全部は列車內に宿營し一發の銃聲をも聞く事なく入城第一夜は明けた

斯くの如き完全なる和平解決は皇軍の行動開始以來始めての成果で、やがて國際關係に多大の效果を齎すもので國際聯盟に相當の反響あるものと觀られてゐる、武裝解除された關慶鑰の部下は極めて柔順であるが正規軍として嚴重なる軍律の下に置かれてゐた面影が認められて頼もしい、

東支鐵沿線
郵政統一完了

【ポグラニチナヤ六日發國通】商鐵道は浦鹽行貨物列車が既に運行され、大豆を滿載せる貨物列車が和成る國境を越えて東行してゐる

四月以來杜絕せる東部線もこに復舊を見ハルピン行旅客列車は明七日午前七時ポグラニチナヤを出發する筈である

明七日ハルピン郵政管理局を滿洲國が接收して以來東部線海林以東はハルピンの管下に入らず暫定辨法を定めて郵政事務を執つてゐたが、今回皇軍の進擊により隨行せる小川接收委員は穆稜「城子以下沿線の接收を終り、六日ポグラニチナヤも接收を完了したので愈々六日より全線を通じて郵政統一を完了、先づ試驗郵送として浦鹽ソ聯邦郵便局に郵便物の遞送を開始し、ハルピン方面とも列車運行次第開通することになつた

蘇、張軍平定
大慶祝大會
八日海拉爾で擧行

【新京七日國通】興安北分省に歸居してゐた蘇張匪軍も過般の皇軍の遠征にて完全に掃蕩され、戰後の政治工作も一段落を遂げ愈々興安全省に王道政治の曙光は漲るに至つたので興安北分省では來る八日海拉爾に於て匪軍平定慶祝大會を開催することとなつた、因に興安總署からは文教科長邦木海札布氏を代表として右慶祝大會に特派した

劉景文歸順
無條件で許容されん

【大石橋六日發國通】我討伐隊の爲めに岫巖を追はれ東方山岳地帶に退避した鄧鐵梅と劉景文の兩匪は一時合體して行動してゐたが山地の事とて掠奪する村落少く、爲めに漸次糧食に窮し匪兵全部を喰すことは不可能となつて鄧劉兩匪共自己の部隊のみを解散せしめんとし部隊を殘して相手の衝突分裂し劉景文は遂に我が上田〇隊長に代表を派し歸順歎願書を提出したので我軍では絕對無條件と言ふことで目下折衝中である、斯くて三角地帶の散匪も我軍の威力により逐次解消の一路を辿りつつある

帝國政府の聲明書を
聯盟事務局送付
山海關事件の責任を明かにす

【ジュネーブ六日發國通】パリにある帝國聯盟事務局長澤田氏は五日山海關事件に關する日本代表部の聲明書を聯盟事務局に送附し右事件に關する帝國の立場を明らかにするところがあつたが氏は引續き五日左の聲明書を事務局に送付し事務局は六日正午コンミュニケの形式を以つてこれを公表した、

全文左の通り

昨日余の送遞したる聲明書に就て余は更に次の如き事實を通達するの光榮を有す

日本政府は只今余に對して日本政府は支那側の挑撥に依る場合を除きては事態を惡化せしむるが如き行動をとらず、以つて山海關事件を地方的問題とするに努力すべく且これに必要なる手段をとるべく當局に對して訓電されたる旨を余に通告し來れり

從つて余は右を聯盟の各國に通告されんことを要請するものなり

一月五日　聯盟事務局長　澤田節藏

聯盟と日本の對立を
英國熱心に斡旋
三妥協條件を準備中

【ジュネーヴ六日發國通】駐日英國大使リンドレー氏は四日午前內田外相を訪問し更に近く外相と會見する模樣だが右會見は日支紛爭事件處理に關する聯盟の決議案及び理由書を中心とする聯盟對日本對立關係の打開を斡旋せんとするもので、英國の妥協條件は大體左の如くである

一、和協委員會に米露の招請は英國政府の希望を容れて斷念する

一、理由書最後の項、滿洲における現政權云々を削除する

三、和協委員會の權限を明確にせず、これが構成は日支兩國の外英、佛、獨、伊、白の七國若くは今一つ小國を加へて八國とする

これに對する日本の態度は非常に注目されてゐるが英國の斡旋態度は極めて眞摯なるものありリンドレー氏の報告を待つて更に松平代表と折衝する筈である

舊曆年關に際し
新京署警戒
十日から第一期の警備を始む

目前に迫つた陰曆新年に際し新京署では陽曆同樣大警戒を行ふ事となり來る十日からいよいよ積極的警戒を始める事に決定先づ十日から三十一日迄を第三期に分割し第一期は日番署員を以つてこれに當て第二期は全署員の半數が交互に警戒の任に當り、第三期はラストヘビーで總動員全署員を以つて日夜衆行で水も漏らさぬ大警戒網を張る筈である

東部線の
使用申込
露國側快答

【東京七日發國通】關東軍が吉林省奧地兵匪討伐に着手するので東支鐵道東部線の使用方を我政府よりモスコー政府に申込んだに對し承認を回答し來つた

駐日露大使
近く歸國の挨拶

【東京七日發國通】駐日露國大使トロヤノフスキー氏昨日午後四時外務省に有田次官を訪問し近く歸國する旨の挨拶を述べた

其後任に關しては日滿露三國間の關係複雜且つ微妙なるに鑑みソ政府に於ても愼重人選中だが現オスタリー駐割公使コンスタンチンエレメイフ氏を起用するに內定し我政府にアグレマンを求めて來た、內田外相は愼重考慮中であるが近日中に內諾の意を回答するものと觀測する

駐日露大使
ユレメイフ氏に內定

【東京七日發國通】駐日ソヴイエート大使トロヤノフスキー氏は愈々近く歸國するが、尚トロヤノフスキー氏は二月十七日歸國するので後任大使のアグレマンを求めた

大藏省々券
續々賣却
外貨公債も三千萬受渡し

【東京六日發國通】輸出過剩の爲め日銀ではこれが統制上四日には大藏省券六千萬圓を賣却したが本日も又一千萬圓を賣却した、外貨公債も四日以來三千萬圓の受渡しを爲しマーケット、デフレーションで一億に達するが今も右の如きオペレイション繼續の方針である

ソビエート露國
五ケ年計畫
問題の映畫長春座で提供する

來る九日と十日晝夜長春座で「ソビエートロシアの五ケ年計畫」といふ問題の映畫がいよいよ上映すれる料金は八十錢均一、添へものにハイナルバ會社作の「巖窟王」がある五ケ年計畫は

「五ケ年計畫」はソヴエートロシアが自ら全世界に向つて五ケ年計畫の眞價を問はんために製作した最初の映畫記錄なのである、こゝにはソヴエートロシアの最高の撮影技術と、この映畫を世界的たらしめるための英語に依るトーギーとの苦心が見事に示されてゐる、この映畫を撮影するために數百名のカメラマンは全世界の六分の一を占める、廣大なるソヴエート聯邦の全土を二萬哩に亘つて、旅行し一億六千萬の人口を擁する二百以上の民族を訪問しなければならなかつた、映畫によると先づ我々は、カメラマンによつての聯邦の國境地方にまで伴はれて行き、ソヴエート聯邦が如何に廣大なる地域を占めてゐるかと云ふことを數へられる、そして、この此地方に住む種々なる民族を知り、五ケ年計畫によつて如何に莫大な富源が開發されつゝあるかそしてこの尨大なる國が近代國家となるために如何に偉大なる事業を遂行してゐるかを理解するのである、次に、ソヴエート聯邦の首府、五ケ年計畫を支配する神經中樞たるモスコーが現はれ、その指導者　諸計畫の首腦部、五ケ年計畫に從事する技術家養成のための特別の學校等が現はれる、そして、五ケ年計畫の最も重要なる部であるこの廣大なる領土を結び付ける交通運輸機關――自動車、モータラツク、新道路、鐵道航空路等の進步の跡、ソヴエートロシアの殆ど無盡藏なる富源から產出される生產物、新たに採掘された鐵礦炭坑驚異すべき油田北方木材產業東方に新らたに發達したゴム植林等々が畫面に現はれる、機械によつて耕作されて居り又小農民の個人經營に取つて代つた共同農場が着々と成功の途を步んでゐる、更にカメラは我々の前に全領土に亘つて建設されてゐる五ケ年計畫の巨大なる原動力全產業電化の中心地を展開する、こゝには近代的衛生設備をもつた勞働者のための新都會が建設されてゐる勞働者の汗の結晶ん新建設があると共に彼等を慰安する娛樂クラブが各所に作られてゐる勞働し、そして盛大なスポーツ祭を擧行するロシアの民衆我々は彼等の新らしい全生活をスクリーンの上に眺めることが出來る

五臺子方面
匪賊散在
懷德に移動を企圖

昨冬伊通に於て解散された匪賊團は海龍其他數頭目の配下につき鄭家臺、五臺子附近一帶にあり其數二千と云はれるが此等匪賊は懷德縣方面に移動せんとする模樣で、玆數日中に五十名から百名の部隊に分れ劉房子、范家屯間の鐵道を橫斷移動するものと觀測され警戒されて居る、又別報によると本七日朝五臺子附近に頭目不明の匪賊多數集結しつつあると

渡日視察團
報告演說

先に渡日した滿洲國實業文化視察團は歸來、執政、國務總理各部總長等に一切を報告したが更に調査書類を印刷に附し尚八日には新京總商會へ農工商學各界の人士を集め視察を講演する

日滿僧侶の發起で
大同佛敎會

滿洲國の王道政治の國是に基き曩に孔學會佛敎會の發起を見たが今般一先（滿僧）雨農（日僧）兩法師は佛法の宏揚を志し同志糾合に努めてゐたが滿洲側の張海鵬、廣鐵生、何一鳴、王俊川諸氏、日本側小林正盛渡邊海旭諸氏が日滿兩國佛敎徒を代表し世界大同佛敎總會を組織し、本部を新京に置き、東京、大連、ハルビン等には支部、その他各市場には分部を置くこととなつた

安東遼源等
十四ケ所に
財政關稅の警察を設置

來る十一日を期し阿片法を發布する滿洲國政府は五日國務院會議に於てこれが施行に關し種々打合せ協議する所あつたが、密賣者取締りのために設置された阿片緝私隊を更に擴大し財政警察隊を組織せしめる事に內定した、即ち本隊の職務は獨り阿片密賣取締のみに限定せて關稅鹽務專賣稅捐の三部をも兼任せしめ、法網を潛つて巨利をむさぼらんさする不德漢を徹底的に彈壓し以つて滿洲國の財政を鞏固ならしめんとするものでこれを財政部の直轄とし差し當り安東遼源遼陽營口吉林龍口等十四ケ所に配置せしむる豫定である

大藏預金部
一千萬圓
融資に決す

【東京七日發國通】關東州では兼てから內地と同樣不動產融資法商法の施行を希望してゐたが今回大藏省でも之を認め預金部から不動產融資抵當代り資金として約一千萬圓を融資するに決定し近く預金部運用委員會に附議する事になつた

綿布保護關
稅增率

【大阪六日發國通】紡績聯合會着電によれば綿布保護關稅問題調查中だが大體保護稅として現行率と略々同率化し今後增加せる晒の如きは從量稅を併用し五分見當增率せんかと豫想されてゐる

滿洲國に於て
判檢事招聘
―近く決定せん！

【東京六日發國通】滿洲國司法總長馮涵清氏が舊臘來京の際日本から判事九名、檢事七名を招聘し度き旨申込んだが司法省では現職の判檢事から派遣する關係上待遇身分保障等の點に就し愼重なる態度を執つて居たが、近く滿洲國との間に具體的折衝を重ねた上最後の決定を見る事となつた

新規公債
十億圓
日銀と公募による

【東京七日發國通】明年度新規公債十億圓余の發行方法は大藏省で考究中であるが、預金部では引受け力がないので日銀引受と公募による結果インフフレーションは促進されると

稅制整理は
結局增稅
各方面とも贊成の模樣

【東京七日發國通】稅制改正準備委員會は近く第一回會合を開く事となり議會再開までに當分材料程度の抽象的な準備を爲す模樣だが、其の具體案に就ては議會終了後即ち明年度に入つて講究せられる順序となる樣である而して同委員會で主張さるべき改正の大綱に就ての見解は稅制整理は結局增稅せねば後年度の財政計畫を執動に付する事を得ないといふ結論に達してゐる模樣で即ち主稅、主計當局の抱く方針は

一、九年度以降四ち平年度でも財政の赤字を一四億は到底避けられない事情に在るからこれに準じて增稅案を作成すること

一、財界の好轉に依つて自然增收を生じ得る見込みが立つとしても滿洲事件費などの計上的歲出がなくならない限り二億見當の赤字は豫想せねばならず從つてこれに準ずる增稅案は不可避なる事

即ち、今回の稅制整理は負擔の均衡は、第二次的の問題であつて增稅斷行が主目的とされるものたるべく、大藏省事務當局から提示される增稅案は最低一億圓程度の案であり實際方法に於ては、急激なる變化を防ぐ意味において、或は二段に分ち適當なる緩和方法が、主張されてゐる模樣である

而してこれに對しては從來增稅反對を主張して來た高橋藏相も結局贊成の餘議なきに至るべく、政黨方面、軍部方面の贊成論と共に增稅論は漸次具體化し實現する模樣である

北樺太から
石油輸入
稻石氏が近く調印

【東京七日發國通】北樺太石油會社はロシアの石油輸出機關たるソユーズネフチロシア石油日本專賣權を獲得して重視されたがモスコー代表稻石正雄氏は、舊臘中歸朝し同社幹部と關係方面と石油輸入の數量及び價格につき折衝中で具體的細目の決定次第約二ケ月後再び渡露し調印の筈で輸入數量は目下のところ本年度三十萬噸である

立教大學生が
各地を視察

東京立敎大學々生和田利一郎外四名は滿洲國各地の視察傍々慰問を兼ね小型活動映寫器を持參同校內海外協會より派遣され十日來京の豫定である

米日爲替
氣配ぼんやり

【ニューヨーク六日發國通】米日爲替二十弗六十二仙持合氣配ぼんやり

十二月中の
卸賣指數

【東京六日發國通】日銀調査十二月中の卸賣物價指數總平均指數一八四六、先月より三分八厘の增加

東株市場

【東京六日發國通】新春の春高相場を現出し午前三菱日產等伞鑛株はゴールドラツシュを反映して前場三菱十九圓高の百六圓十錢に躍進、鐘紡は八圓九十錢に暴騰し短期にあ[illegible]

銀塊

【東京七日發國通】主として支那筋の賣に相場低落したが引けは小晩りで引跡アメリカ筋支持に靜穩乍ら氣配小固し

つては日產が六圓台二百圓臺に乘し上げ新東が十圓高の二百廿六圓臺を現出した、大衆の買氣衰へず

倉知四郎氏
九大で療養

【福岡六日發國通】上海公大紗廠常務取締役倉知四郎氏は乳嘴突起炎で九大病院にて手術し經過良好だが安靜を要するので入院長引くものと觀られる

長春座は八日晝夜松竹映畫を新京商事映畫部が提供する、プログラムは本邦最初のラグビー戰を背景の壯快無比なスポーツ映畫「陸の若人」大日方傳、八雲惠美子、結城一郎、水々保澄子、上山草人の演出、林長二郎、尾上榮五郎堀止夫、中村吉松、飯田蝶子、井上久榮、高峯季子共演の「小僧次郎吉」等である

經濟

海外市況（六日）

倫敦銀塊現物	一六片一六分一二
先物	一六片四分[illegible]
紐育銀塊	二五仙丁
孟買	四[illegible]
米英爲替	三弗三四仙一[illegible]
米日爲替	二〇弗六八仙
米支爲替	二七弗八分三
スチール株	二九弗八分七
上海標金寄付	八二[illegible]

大連錢鈔（七日）

現物寄付	九八、〇〇 跡 九八、[illegible]
先物寄付	九七、九[illegible] 跡 九七、[illegible]

阪神相場（七日）

日米爲替一回賣	二〇弗二分一
一回買	二〇弗四分[illegible]
賣	二〇弗八分三
買	二〇弗八分五

奉取相場（七日前場）

寄	一〇三・七〇	高	一〇三・八〇
引	一〇三・九一〇	安	一〇三・九五
出來高	二三	[illegible]	[illegible]

京取相場

現物 大豆	一三・七〇	出來高 [illegible]

城內錢鈔相場

鈔票對金票	九八、〇
現大洋錢對金票	九七、二
匯館對金票	九六、八
現大洋錢對鈔票	九九、一

新年感想

臧式毅

光陰如矢復受に賀暦を迎ふ熟々去年の今日を回顧すれぺ正に軍閥掃蕩の直後にして而も新國家未だ建設に至らず胡匪機に乗じて蜂起し民本漸く疲弊せんとし其の危殆忍ぶに堪へたり幸外友邦の維持に頼り內同志の努力に俟ち百業緒に就き次第に其の功を收む新國家肇造に泰るや上天心に應じ下人情に順ひ王道を實施し仁政を推行す今や將に暮年國基日に固く民生又日に伸び稀賦稅は兵の冗濫を免じ其弊害を去る法を嚴にして科罰を愼重にし胡匪の掃蕩吏治の清澄其又日進月歩燦然光輝添ふ惟ふに諸事肇初の經營宜敷を得ざれば焉ぞ有終の美續すあらん既往の成績は衆指これを指し衆目之を睹る所たり庶幾回復益々上下共に戮力共に倶に艱難に任ぜん是東亞を永遠の世界樂土たらむる所にして其欣幸何ぞ之に譬へて一言以て新年の辭となす

偽勇軍とは?

最近熱河及山海關方面に於て攻擊の態勢を取り始めた偽勇軍は、従來の如き部局的なバラバラの擾亂襲擊と異り背後に二十萬に餘る東北陸軍を控へ且つ學良及び北平に在る救國軍總司令部からの總括的な命令に従つて、錦州奪取を第一目標として全面的に活動を開始したもので相當な規模と統制の下にある模様だ。

勿論どうせ支那軍のそれも偽勇軍の事であるから相當インチキなものであるが、何分にも銃器、大砲の類を擁し普通の方式に従つて攻擊して來るし政治工作までやるのであるから放つて置く譯に行かない。

で、少しくその表裏を解剖して見やう。

彼等自身は勿論偽勇軍とは言つてゐない、東北國民救國軍といふ嚴めしい名稱を附け支那式の堂々たる組織の下に編成されてゐる。

先づ彼等の所謂救國軍組織綱によつて見ると、その劈頭に「本軍の宗旨を四大綱に分つ、一、抵抗暴日、二、偽國否認、三、保衛地方、四、扶植民治」とある様に、言ふ迄もなく滿洲國を打倒し日本軍を追ひ除けて再び彼等の天下にしやうといふのだ。從つて指揮總監部の訓令なども相當なもので

命令に依り本軍は民衆の爲め武力の責任を感ず、日本の横暴に抵抗し我國家樂土を回復し我武裝の同僚は須らへ衆知の大義貫徹に民衆の囑目を負わざるべ可らずと言つた胃頭の下に一つとして行はれさうもない軍律を規定してゐる。その證據には、指揮總監朱霽青は總課長宛てに「近頃本軍所屬の各官、士、兵にして動もすれは規律を守らず、訓練を怠る者あり、殊に本軍組織の本旨に違背し救國の初志を忘却するものあり」向後かゝる者は嚴罰に處する旨を各部隊に傳達すべしと命令してゐる。

○

次に組織の綱領を見るに、全救國軍は一人の指揮總監に統轄され、その下に、一、指揮總監部二、各路指揮部三、獨立支隊があり、指揮總監部には參謀、副官、經理、軍機、醫務、秘書、軍法、交通、政務、宣傳の十處を設け、之等處長處員の外に參謀長、副官長、秘書長、各一人がある。而して總監部内に軍事、政治財政、保安の四委員會を設け設計諮詢機關となし、一方各路軍及び獨立支隊を指揮して軍事行動を統轄すると共に、各路軍及び獨立支隊の委員會を督勵し政治工作をも統轄する。

各路には支隊保安隊別動隊及び總監部同様の委員會があり、軍民兩政の指導機關となり、獨立部隊中最大の獨立支隊にも同様の委員會がある。之を圖示すれば左の如くである

救國軍指揮總監
總課長、副官長、秘書長
總監部、參謀、副官、經理、軍機、醫務、秘書、軍法、交通、政務、宣傳各處軍事、政治、財政、保安各委員會
各路 軍事、政治、財政保安各委員會、支隊所—團—營連
別動隊 保安隊
獨立支隊 軍、政、財、保委員會師—團—營—連(編成右に同じ)
獨立部隊 獨立師、獨立團、獨立營、獨立連、

右の中純然たる作戰部隊は支隊及び獨立部隊で、保安隊は占領地の保安に任じ、別動隊は即ち馬賊小隊で保安區域には入らず、專ら敵陣側背部の擾亂破壞をやらうといふのである。

要之、大體に於て南支一帶に蔣介石と雖も手を下し得ない新國家を打建てた共産匪軍即ち紅軍の組織を模したもので形だけは洵に一人前であるが、先づ馬賊を使つて一地の擾亂を試み、その機會に攻擊してそこを占領したら政治工作をやらうといふ仕組みで、大體この順序を踏んで來るやうである。

○

所がさうは問屋が卸して呉れない何となれば相手の日本軍が强過ぎもするが彼等の組織自體が表裏全く異にするが故である。

先づ救國軍の色々な規定中から一例を擧げて見ると、救國軍賞罰條例の第四條に次の様な賞金規定がある。(捕虜又は捕獲)

高級士官一名三百元、中級士官同一百元、初級士官同五十元、輕機關銃一挺六十元、重機關銃同三十元、歩兵砲、山砲、野砲、輜重迫擊砲各一門一百元、高射砲二百元、戰車一輛二百元、偵察機一架一百元、爆擊機同二百元、戰鬪機同二百元、百にもならない勲章をもらつたり、賞状なんか頂戴するより、といふよりも寧ろ賞金を懸けなければ動かない支那の兵隊さんなのだ。

だから、上の力では給料を着服する、勢力爭ひはする、下の方では配給された銃器を賣つたり、必要品を無代で買つたりする。

例へば、馮占海は、實員一萬位しかゐないのに上司へは五萬と報告し、その割合の軍費や給與を取らうとする、而もその一方の部下も苦力や浮浪の徒を狩り集めたので、服裝などはバラバラでやつとこさと支給された銃や實包はおろか官服まで僅かな金に代へてゐる有様だ。

又凌源に居る劉香九の百八旅では、馮占海軍が移動して來るといふので之を喜ばず、對抗氣勢を取り馮と內爭を始めるといつた所まで行つてゐる。そしてその部下は給料が三ケ月も不渡りなので、自然欲しいものを勝手に持つて行つて三文の値打もない軍票さへ置いて行かないといふ風で、昨今凌源の市況などめつきり寂れたといふ話。

それから募兵に應じて集つて來るのは、大刀會やその他の馬賊團が最も多く、どこをどう轉んでも飯の食へない浮浪の徒が之に次で多い。

從つてこんなのを仕立てた別動隊であるから舊來の土匪に官兵としての御威光を加へただけ一層惡質で、各地方の民衆との關係が頗る惡い恐らく嵩にかゝつて押借り無代取りをやるからだ。

さうなれば自然一般民衆の自衛軍や自治團は、先づ自分達の村なり鄉なりを彼等から護らなければならないので指揮總監部なり路指揮部から出動命令が來ても自分達の村だけ守つて出動を背んじない有様だこんなことを拾ひ上げて行けはキリがないが。おそらく偽勇軍としての致命的の缺陷は、最初にこんな大仰な組織を考へた者からして、がっしりした事が純眞な氣持ちで行はれて行かうとは考へてないことだ、即ちごそごそやつて軍資金をせびられるのが落ちとは思ひ乍ら一方でかうしたことを考へた事自體に一種の虚榮的な快感を感じつゝあわよくばうまくゆくかもしれないと考へ居ること だ、かうした張り切らない横着な心持が國民急的に上から下まで突き抜いてゐることだ唯、かくの如くして組織された以上、最小の效ろさに於て最大の效果を擧けやうとする所に、彼等の數が多いことの危險さが現はれて來るのだ

偽勇軍の幹部

偽勇軍の幹部級の氏名及びその系統を示せば左の如し

△朱霽青 救國軍指揮總監、汪精衛より任命されたもので一月の初め一度義州を攻擊して失敗

△宋九齡 與萱と號し前東北陸軍第六旅長、前遼西偽勇軍總指揮、現在は救國軍參謀長を兼任し部下二千を有す

△李賜如 元偽勇軍第二路司令で今は一方の總指揮、日本士官學校卒業生で曾て東北陸軍の旅長たりしことあり、六月初め一度義州を攻擊して失敗、部下二千

△採兆印 紹廷と號し、元奉天軍六百二十五團長、四月現役を退いて學良より遼東偽勇軍總指揮の印綬を受け屢々奉山線一帶を擾亂した部下は買收軍を合せて三千

△彭振國 遼西偽勇軍總指揮、元北平抗日救國會幹部で七月初め錦州攻擊を目的に熱河に入り一度錦西を攻擊した

△鄭桂林 第四十八路軍長、講武學堂出身で三月綏中興城を攻擊しその後熱河奉天の省境に蟠踞して居る、特に反滿意識の强烈な男

△耿繼周 第四路司令、元奉天陸軍大佐で王以哲系の匪首

其の他有名な馬賊では老北風老邊防の父子軍千五百、大青山の三百、鄭桂林系の大有字忠義の父子、黄顯直系の齊憲廷、婁春霖等著名な輩で、其の他百以上の部下を有するものの數千人あり

新京日日新聞

定價 一ヶ月金一圓 ／ 郵稅 一ヶ月金二十錢 ／ 廣告 一行金八十五錢 ／ 特別 同金壹圓廿錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠 ／ 編輯人 松本勇 ／ 印刷人 谷啓二郎

山海關に在る英人保護を北平英國側から注意喚起

―我公使館からも諒解を求む―

〔東京國通〕在北平の中山一等書記官發外務省着公電によると、五日英國代理大使イングラム氏は中山一等書記官を訪問して秦皇島には英人多數居住して居り日支兩軍衝突ある場合は右生命財產に損害なき樣注意されたいと注意を喚起した、之に對し中山書記官は事件不擴大の我方針を說明し、蔣介石の壓迫により張學良が山海關奪還を企てねば右の危險はないと答へ諒解を求めた

支那あくまで頑迷に交涉に應ぜぬ爲

我が方は現狀維持

〔東京國通〕山海關より北支方面の事態は學良の兵力移動により情勢は再び次第に緊張を加へて來た模樣で陸軍中央部では事態の推移を重視して居るが、既に軍事中央部としては同方面の事態を擴大せざる方針に決定し、出先部隊に此の旨訓令を發してゐる依つて支那側で誠意を示す場合は善後處置に就き中村駐支軍司令官をして交涉を開始せしむる用意を有してゐるが支那側は我軍の同地方の撤退を要求して容易に交涉に應ずる模樣がない、從つて我軍としては引續き同地を占據して居るが當分現狀を持續する外ないので今後も支那側の態度を靜觀して處置を講ずるばかりだと語つて居る

學良尙ほ戰備を急ぐ

〔錦州國通〕張學良はその後學良は萬福麟を抗日軍前敵總指揮に、于學忠を第二軍司令に、商震を後方軍司令に任命した

學良軍前線增兵續く

〔北平國通〕支那側の前線移動は尙已まず、六日夜の如き八千名の軍隊が五個の列車で天津通過東方の第一線に向つた、支那側では灤州以東の軍隊が日本軍に比し著しく劣勢なりと稱し、且つ斷乎日本軍の攻擊を阻止せよと中央の命令を實行する必要上增援兵の派遣已むを得ずと稱してゐるも對日戰備を進め石河岸の塹壕の完成近く、五日以來第二旅も前線に到着した、一方九門砲臺の鄭桂林に對しても我が錦州部隊の後方を襲擊の秘密命令を發した

山海關に犇々と鄭桂林迫り

之が擊破のため〇〇團出動せん

〔山海關七日夜國通今村特派員發〕一兩日前より山海關の背後に迫りつゝあつた鄭桂林軍は關內に在る東北軍と連絡を計り、山海關襲擊を企圖しつゝある、我軍はこれを未然に防ぐため〇日〇〇より〇〇〇團出動し熱河省を迂廻鄭桂林軍を擊破の上不日山海關に到着の豫定の如くである

山海關問題に關し英國妥協案提議

帝國外務省の聲明

〔東京七日夜發國通〕聯盟總會で日本の反對を緩和する爲め英國からの妥協案提議に外務省は聲明して曰く

帝國政府は決議案について必ずしも聯盟側との正面衝突を欲しないが去る五日イーマンス議長が佐藤代表に明示した如く若し第十五條三項を和協受諾せぬ場合は第四項により日本をさつちめると言ふ樣な威嚇の態度を依然持續する以上假令聯盟が表面は妥協的態度を示すとも帝國政府は迂濶に讓步することは出來ない、又假令聯盟が十五條第四項で進むことは政府としては一向痛痒を感じない、何となれば同項によつては如何なる勸告が作製されても政府としては之を拒絕するのみである、政府が之を拒絕すれば聯盟としては之以上滿洲問題に介入する事は聯盟規約の根據をみだす事となり却つて困るのは聯盟である

日本軍へ提議は無意味だと

津田司令官停戰勸告に答ふ

〔山海關國通今村特派員發〕六日夜英國東洋艦隊司令官より帝國第二遣外艦隊司令官津田靜枝少將に對し「日支の停戰を斡旋しやう」との申出あり。之に對し我山海關軍では商議の結果七日朝これを承認すると共に左の如く附け加へて誤解無きを期した

「日本軍は三日午後以後停戰してゐる、然るに支那側は今尙ほ戰鬪用意をなしつゝあるを以つて、停戰勸告は支那側に必要あるも日本側にその必要なし、貴官の好意は感謝すると共に日本軍への提議は意味をなさず日本軍は居留民の保護と守備隊救援の爲めに出動したものであつて、今や其目的を達したるを以て支那側が攻勢に出ぬ限り日本軍より積極的行動を執る必要なし」

學良の對日軍配備

〔天津國通〕諜報によると張

東北軍內部の抗爭表面化

形勢小康に伴つて

〔天津七日夜發國通〕形勢小康狀態に歸ると共に東北軍の內部抗爭暴露し今回事件の直接指導者は張學良なること明瞭となつた即ち張學良側近者よりの確實なる情報によると、張學良は三中全會の認識不足なる決議に責められ何柱國を免職して劉參謀長に積極的に抵抗すべしと嚴命したが愈々事件擴大し兩軍交戰するに及び事態不利に陷るや大いに狼狽し何柱國を急遽出動せしめたが遂に收拾する能はず、石河の線に退却するのやむなきに至つたものである、斯くして今や東北軍內部には反張的な空氣漸次濃厚となり、事態の推移によりては或は表面的に現はれて來ることなきを保障し難き模樣である

蔣介石のペテンには學良容易に乘らず

近く蔣張の會見實現か

〔東京國通〕外務省着の情報によると蔣介石は張學良を窮地に陷れる目的にて張學良麾下の何柱國に山海關奪回を命じ不可能の場合は軍事裁判に附すべしと威嚇する一方蔣介石側商震、宋哲元を前線に出動せしめ張學良を牽制せんと計畫してゐるか張學良は一九二九年に蔣の勸誘で東支鐵道の紛爭を惹起しその勢力を毀損された經驗があるので容易に動かず、近く山海關事件の善後處置で蔣介石に會見を申込むものの如く、その結果山海關事件の支那側の最後的態度が決定されんとし重視されてゐる

岡田海相辭意を決し

早くも後任の下馬評

〔東京七日夜發國通〕岡田海相は病氣の爲め新年宴會にも參內出來ず引籠つてゐるが右は齋藤總理に停年滿期と病氣とを理由に辭意表明と見られる、本日柴田書記官長は葉山に避寒の齋藤總理を訪問して打合せを爲し、岡田海相の辭任問題が具體化されると觀測される岡田海相は五、一五事件の處理とロンドン條約での兵力充實を期する爲め、齋藤總理の懇望により二度の勤めをしたけれども右に已に何れも目鼻がついたので辭意を決したと見られるが、齋藤總理はあくまで留任を懇請せんと見られてゐるが辭職せば至急後任海相の決定が必要で早ければ聖上陛下の御避寒前の八日頃と見られ後任海相は保安大將或は大角前海相が有力である

後任海相に

安保大將最有力

〔東京七日夜發國通〕來る廿日を以て停年に達する岡田海相は舊臘來健康を害し淀橋の自邸に靜養中だが、海相は此の機會に自己の素志通り勇退する意思を固めたと云はれ、休會明け議會を目前に控へ首相は各方面から手を廻して極力留任を懇請して居るが、海相の周圍は停年滿限を機會に斷然勇退し終りを完ふすべきであると進言しつゝある狀態で、海相の眞意としては健康が到底議會に臨む事を許さゞる狀態にあるとの理由で潔よく桂冠する決意を固めたるものゝ如く、玆數日中に進退を明かにする事となるべく、政界に重大な衝動を與へて居る氏の後任としては安保大將、大角大將の呼聲あるも、安保大將の再起が最も有力視されて居る模樣である

駐日公署大迫參事官歸滿

〔東京國通〕滿洲國駐日公署參事官大迫幸男氏は本國からの命令で突如歸任する事となり、一月十日東京發新京に向ふ事となつた

松岡全權ミラノに着

〔ミラノ國通〕ジュネーヴに歸任中の松岡全權は六日午後十一時ミラノに到着した

昭和七年中對外貿易

〔東京國通〕大藏省發表、昭和七年中臺灣、朝鮮及南洋を含む對外貿易概算左の如し

(單位千圓)

輸出	[illegible]
輸入	[illegible]
合計	[illegible]
差引入超	[illegible]

怪人凱歌

(百十一)

(舞臺上演)(映畫化) 須藤鐘一 (畫)澁 秋方

誤解の日(五)

「あの……今朝方、御病人の妹さんとおつしやる方がお見えになりまして……」と、看護婦が小聲で云へば、

「さう、そしてもうお歸りになりました?」と、眞佐子。

「いゝえ、今、病室にお出でになります」

「さう、それはよかつた。折角お家で御心配なすつて居らつしやるだらうから、早くお知らせしたいと思つたところですから……でもよく此院に居らつしやることが分りましたのね?」

「はい、お妹さんは、隨分お探しになつたのださうでございます。昨夜は遲くまで探しまはつても、どうしてもわからぬので、今朝また早くから探してるうち、あの屋臺跡で御病人の帽子と下駄をお見つけになり、それで近所の車屋とかにたづねて、やつとお見つけになつたとおつしやつてました」

「へえ、それはさぞ御心配だつたでせうね。昨夜、交番へでも屆けておけばよかつたのね。しかし、わたしは何かこみ入つた事情があつては却て公沙汰にしない方がいゝと思つて、屆けもしなかつたけれど……兎に角、お目にかゝつて見ませう」と云ひながら、眞佐子はコツ〳〵とノックして靜かにドアを開けて入つた。

病室は三坪ばかりの洋室で、南向きの晴れやかな感じがした。東の窓際に寄せてベッドが据ゑられその枕元に、十五六と思はれる少女が、しよんぼりと椅子にかけてゐるのだつた。

ドアの開くと同時に、少女は立上つて、入口の方を振向いた。二人の視線がピツタリ合つた。

眞佐子の方が二つ三つ年上で、しかも平常婦人相手の職業にたづさはつてゐるので、つか〳〵と近づいて愛想よく笑顏をつくり、

「御免下さい。あのわたし眞佐子と申します。昨晩は飛んだ災難でございまして……」と挨拶する。

先方はまだ世慣れぬ少女のこととて、たゞモジ〳〵するばかり、何と云つていゝか、口には容易な言葉も見出せないやうであつたが、やつと小さい聲で、

「兄さんが大そう御厄介になりまして……」といつて、丁寧に頭をさげるのであつた。

「いゝえ、わたしの方は何でもありませんでしたが、あなた隨分御心配なすつたでせうね」と、同情を顏にあらはして云つたが、更にベッドをかへり見て「あの、失禮でございますが、此のお方、あなたのお兄さまで居らつしやいますつてねえ」

「はい、さうでございます。あの申しおくれましたが、わたし山路千鶴子と申します。兄さんの信雄と二人で、つい其處の芝口の方に居りますのですが、兄さんは昨夜ちよつと散步して來ると申しまして出たきり九時になつても十時になつても歸つてまゐりませんので心配になりまして、さがしに出たのでございます。おそくとも十時にはきつと歸つてまゐることになつてをりますので、こんなに遲いのは、乾度何か間違ひがあつたにちがひないと思ひまして、宿のものにも賴みまして、手分けしていつも兄さんの行きつけのカフエーだの喫茶店だの撞球場だのをスツカリ見てまはりましたが、どうしても分らないのでございますよ。そのうち十二時も過ぎ、一時近くになりましたので、あんまり遲くまでうろ〳〵してゐて、こちらが怪しまれてはならぬといふので一旦引きあげました。しかし、わたしは床に就いても心配で眼があひません。夜のあけますまで案じ通して眠れませんでしたから、朝になるのを待ちかねて、まだ薄暗いうちから飛出して、此の近所を殘るところなく、步きまはつて見ました。すると、ついそこの屋臺跡で兄さんの帽子と下駄を見つけたのでございますよ。その時わたしの喜びと心配ッたらありませんでしたわ」と、ここまで一息に話して來た千鶴子は漸しく笑つたが、眼には涙が光つてゐた。

「さうでせうとも……」と、うなづいた眞佐子の眼も曇つた。